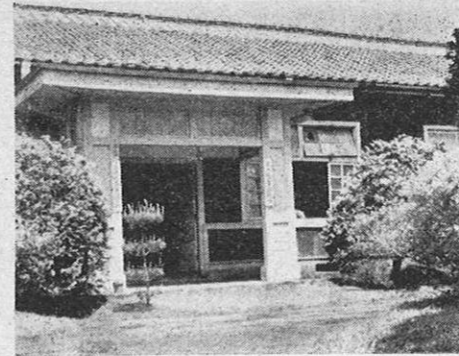


〈施設紹介〉

「インスタント茶」も試作

熊本県茶業試験場



〈写真は試験場の玄関〉

熊本県が本場である釜いり茶は、コクがあり、しかも香気が高くのみやすいので、大衆向きとして一般に評判がよい。試験場では、いまこの釜いり茶の研究に大きなウエイトをおいている。そのための釜いり機械の研究も進められており、独特の「連続式」の考案は能率アップに役立っている。

もう一つの特徴、それはインスタント茶（濃縮茶・冷煎茶）の研究。これは、すでに昨年、試みとしてデパートや小売店に出して意外にも売行き一〇〇%だったという。

特に冷煎茶は水でそのままのめるし、カルキの匂いもせず、夏向きとして愛飲者もかなりふえてきているらしい。

茶の消費は近年かなり伸びている。現在全国の年間消費は七千キログラム（千九百万貫）を上まわり、県内だけでも約百九十九キログラム（五十万貫）に伸びている。したがって目下のところ生産が追いつかないというのが実状。

試験場では、県下二千鈔の茶園経営の生産性をより

高めるため、生産地への出張指導を巡回式に行なっているが、今後の方向としては、従来の家庭菜園式から專業化に切かえ集団化・協同化が考えられている。一方、県茶業協会を中心として、東京、大阪方面での販路拡張懇談会がことも活発に開かれる予定。

試験場は熊本市健軍町にあり、場長は落合千年氏。機構は、庶務係、栽培部、製造部からなり、茶業者のよき相談相手として、試験研究に専念している。

電話は④四六〇九



新しいテレビ番組

「県民のひろば」

はじまる

私たちの身近かな問題や、その時々々の県政の重要な問題を、わかりやすくみなさんにお知らせするテレビ番組「県民のひろば」を5月から始めました。ぜひご覧下さい。

- ☆チャンネル・11
- ☆放送日時・毎月最終土曜日 午後一時半から二時までの三十分間
- ☆題名・「県民のひろば」

〈募集のおしらせ〉

- ☆統計懸賞論文
- テーマ：「統計と地方行政」
- 長さ：四百字詰用紙三十枚以内
- 締切：きたる七月三十一日
- 資格：熊本県内に住んでいる人
- 賞金：1等（1点一万円）2等（1点五千円）3等（5点千円）
- 発表：入選者には本人に通知する
- 送り先：熊本市行幸町十九番地 熊本県総務部統計課内 熊本県統計協会あて
- その他：入選論文は更に全国統計協会連合会の論文募集に参加する。

☆統計図表コンクール

（応募資格とテーマ）

- 小学生：学習の結果をあらわすもの
- 中学生：市町村や学校生活の実情をあらわすもの
- 高校生：熊本県または市町村の実情をあらわすもの
- 一般：日本の社会、経済の特徴をあらわすもの

- （用紙の大きさ）
- 小学生：72.8mm x 51.5mm
- 中学生以上：103mm x 72.8mm
- 締切：きたる八月三十一日
- 賞金
- 1等（小学生）1点千円（中学生・高校生）1点千五百円（一般）1点三千円
- 2等1佳作は紙面の都合で略す
- 発表：九月上旬新聞紙上及び入選者または所属学校長に通知する。
- 送り先：熊本県統計協会あて
- （所在地は前記と同じ）
- その他：入選作品のうち優秀作品は統計図表全国コンクールに出品する。

■編集室■

- ▽「広報くまもと」はこの号から新しい装いにかえました。
- ▽新たに読者になつていただいた方も、以前からの方も、どうかよろしくお願ひします。
- ▽皆様の意見やご希望をお寄せ下さい。（広報課）

県政フラッシュ



(1)



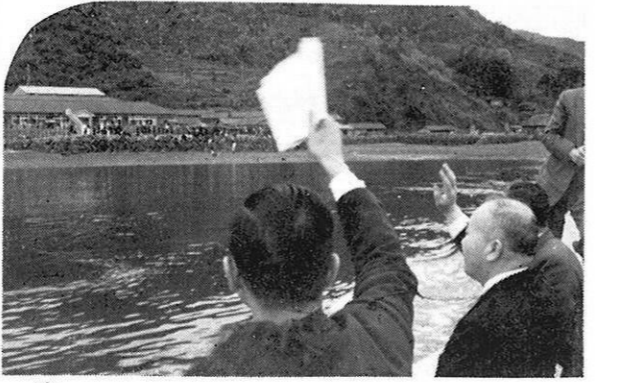
(2)



(3)



(4)



(5)



(6)

〈写真説明〉

- (1)「小児マヒから子供を守ろう」と、広報車は県下全域を巡回……
- (2)県民全部が国民健康保険に加入……その達成記念式典が盛大にひらかれた。
- (3)RKKを通じて熊本県がおくる新しいテレビ番組「県民のひろば」が5月から始まった。
- (4)(5)寺本知事は天草郡・八代郡内を巡り、親しく地元の人々と話し合った。
- (6)現地の声をデカに聞いて県政に反影させようと「県政移動相談」を県下各地で開催。また、「県計画」の説明会も同じく各地で開催している。